

1. 科目名 (単位数)	心理学を活かしたキャリアマネジメント (2 単位)	3. 科目番号	PSMP2102
2. 授業担当教員	魏 孝棟		
4. 授業形態	講義、ディスカッション	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	心理学を活かしたキャリアデザインを履修していること。		
7. 講義概要	心理学部の学生は、心理学の各分野の理解を深めると共に、社会福祉、精神保健福祉、教育などの心理学近接領域におけるヒューマンサービスの実情を学び、それぞれの現場で心理学の知見を応用していくための基礎的な力を身につけることが期待されている。その背景には、心理学を学ぶ学生が、多様なキャリアを展開させることが想定されている。本科目では、1 年次に開講されている「心理学を活かしたキャリアデザイン」において学んだことを踏まえて、心理学を活かした将来展望やキャリア形成について、より実践的に考える。特に資格取得を想定している場合は、資格を活かして働く自分をイメージし、実現するためには何を成すべきかについて整理する。		
8. 学習目標	1. 心理学の汎用性を活かした多様なキャリアを具体的にイメージできるようになる。 2. 多様なキャリアの中から、自分の強みを生かせるキャリアを探すことができるようになる。 3. 将来、自分が働いている姿について具体的なイメージを形成し、実現していくアクションプランを立てることができるようになる。		
9. アサイメント (宿題) 及びレポート課題	1. 各授業内容に関するワークシートやレポートを作成する。 2. 演習・グループディスカッションの結果を発表する。		
10. 教科書・参考書・教材	【教科書】 特にありません 【参考書】 (本学) 履修要項 “宮城まり子『心理学を学ぶ人のためのキャリアデザイン』東京図書”		
11. 成績評価の規準と評定の方法	○成績評価の規準 授業やレポートを通して以下の 4 点について、理解を深めたかどうかを評価する。 1. 自分が目指したい業種・職種を明らかにする。 2. 就職活動はどのような手順で進められるのかについて理解できる。 3. 社会人としてのマナーを理解し、実践できるとともに働くために必要な人間関係スキルについて理解し、実践することできる。 4. 働く人のメンタルヘルスについて理解できる ○評定の方法 学則で定められた単位取得の条件(3/4 以上の出席)を満たしていることを前提として、授業態度と参加姿勢 40%、試験及び課題レポート 60% で判断する。		
12. 受講生へのメッセージ	社会人となる日も決して先ではありません。自分の人生をどのように歩んでゆくのか。それを考える時間は必ずしもたくさんあるわけではありません。今の自分もすでに社会人であることを意識しながら授業に参加してください。 1.積極的に質問をしてください。また、授業で出された様々な課題に積極的に取り組んでください。 2.特にクラスへの貢献度を積極的に評価します。その一方、遅刻、欠席、早退、一時の無断退室、代返、私語、居眠り、携帯いじり、演習やディスカッションへの不参加、その他授業妨害や迷惑行為が減点の対象となりますので、注意してください。 3.授業中の私語および携帯電話の使用は厳禁とします。 4.初回授業で受講ルールの詳細を説明するので、受講者は必ず初回の授業に出席してください。		
13. オフィスアワー	初回授業にて説明します。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第 1 回	イントロダクション (諸注意・評価方法などの説明)) キャリア理解のおさらい	事前学習	シラバスの講義概要と学習目標を読む。
		事後学習	目標とする将来の職業について深く考える。
第 2 回	働くことを考える 1 : 働くことの意味について考える	事前学習	自分が働いている姿の具体的なイメージをまとめてくる。
		事後学習	配付されたワークシートを完成させる。
第 3 回	働くことを考える 2 : 自分にとっての働く意味と価値を考える	事前学習	配付されたワークシートを完成させる。
		事後学習	ディスカッションを振り返り、やりたいことの実現に必要なことを考える。
第 4 回	職場を知る 1 : 会社が大学生に期待することを知る	事前学習	自分が働きたいと思っている職場(一般企業、役所、病院、施設等)が大学生に期待することについて調べる。
		事後学習	大学での学びを職場で活かすための具体策を考える。
第 5 回	職場を知る 2 : 会社の組織構造と日本のキャリアシステム	事前学習	一般企業の組織構造とキャリアシステムについて調べる。
		事後学習	一般企業の組織構造とキャリアシステムについて復習する。
第 6 回	職場を知る 3 : 働いている人の声からキャリアの実際について理解する	事前学習	実際に働いている人に働くことについてインタビューし、その内容をまとめる。
		事後学習	ディスカッションの内容を振り返り、自分はどのように働きたいかをまとめる。

第 7 回	職場を知る 4 : ワークライフバランス	事前学習	ワークライフバランスについて調べる。
		事後学習	ワークライフバランスについて、自分の意見や考えをまとめる。
第 8 回	働き方を考える 1 : 人生のロールモデルを探す	事前学習	これまでの学習を振り返り、心理学を学んでいる自分がどのような職についてどのような働き方をしたいかについてまとめる。
		事後学習	ロールモデルを探し、その人のキャリア年表を作成する。
第 9 回	働き方を考える 2 : 自分のキャリアイメージを想像する	事前学習	ロールモデルを探し、その人のキャリア年表を作成する。
		事後学習	授業の結果を踏まえて、自分の理想のキャリアイメージをまとめる。
第 10 回	就職するために心理学部生がなすべきこと	事前学習	自分がどのような職に就きたいかを考える。
		事後学習	自分が就職するためになすべきことは何かを考えて、プランを作成する。
第 11 回	自己理解再考 1 : エゴグラム	事前学習	エゴグラム、および、エゴグラムとキャリア形成との関連について学習しておく。
		事後学習	授業で実施したエゴグラムのテスト結果と、自分の望むキャリアイメージについて、展望や課題をまとめる。
第 12 回	自己理解再考 2 : ホランドの六角形モデル	事前学習	ホランドの六角形モデル、および六角形モデルとキャリア形成との関連について学習しておく。
		事後学習	授業で実施したホランド六角形モデルの結果と、自分のキャリアイメージの照合や検討を行う。
第 13 回	自己理解再考 3 : 働くことの価値観	事前学習	働くことの価値観について文献を調べ、自分なりの価値観について考えておく。
		事後学習	授業で実施した内容を元に、自分の働くことへの価値観について考察する。
第 14 回	自己理解再考 4 : 自分の強みと弱みの分析	事前学習	1 年次の授業で実施した自分の強み弱みの分析結果を振り返って準備する。
		事後学習	授業で実施した強み弱み分析結果を 1 年次で実施したものと比較して、変化を確認する。
第 15 回	まとめ(心理学を学ぶ人のキャリアについて再考する)	事前学習	これまでに学習した内容を振り返り、心理学部生としてどのような大学生活を送るかについて考える。
		事後学習	ディスカッションの結果を踏まえて、改めて今後の大学生活をどうするかについて考え、まとめる。